

## 「2019 浙江スプリングスクール派遣参加報告書」

京都大学総合人間学部 1 年 中島こと

2019年浙江スプリングスクールプログラム内容の主なものは、中国の浙江省杭州にある浙江大学において、外国人留学生のための中国語を学ぶ教室で、二週間授業を受けることであった。また、観光や放課後のアクティビティーを通しての中国の文化や杭州の文化・歴史の体験や学習、浙江大学の学生との交流も行なった。中国語に関しては、英語がほとんど通じない中国における現地実践、そして全て中国語なのに圧倒的なスピードで進む授業の成果だろうか、だんだん授業中の先生の言っていることはだいたいわかるようになった。授業に関しては、中国語を学ぶための授業だったので、世界中の異なる地域から様々な目的を持った人たちが集っていて、その中で中国語を学ぶことはとても刺激的だった。オーストラリアで不動産業をしているおじさんや、大学を卒業してビジネスを立ち上げたいインドネシアの女の子、浙江大学の国際関係の学部に入學したい子や貿易関係の仕事で中国語を使いたいという社会人など、国籍・年齢・バックグラウンドが全く異なる人たちが中国語を習得するという一つの目的のために狭い教室の中で共に勉強していた。今回の留学ではそのような貴重な環境の中で、私は言語を学ぶことの大切さを身にしみて感じた。また、アクティビティーや自由行動では、めいっぱい中国という国の風土や人間を味わうことができた。杭州の有名で美しい西湖を散策したり、朝から学校外に出て格安の軽食が買える屋台で前の人と同じものを頼んだり、緊張しながらバスに乗ったり、レストランで必死に翻訳アプリを使ったりして、二週間の留学中、日常生活を送る中で中国の社会の中に慣れて溶け込んで行ったような気がする。この留学に参加する前は短期の旅行には行ったことはあったが留学という形の海外経験も、二週間もの長期滞在もしたことがなかった。今回は中国で、道路で歩きながら果物を向いて食べて手をべたべたにしたり、夜市で値切り交渉をしたりするうちに異文化に慣れて溶け込んでいったような気が少しした。今までの旅行では他国の異文化に驚くことで完結していたが、このスプリングスクールにおいては、異文化に驚くだけでなく、土地の慣習や人々の雰囲気などをより深く知って、自分もその一部になるような体験をすることができた。今までも漠然と海外に憧れていたが、今回のプログラムを経て、ただの旅行だけでなく、他国の異文化のより深い理解と融合が可能な長期留学あるいは長期滞在に興味を湧いた。今回のプログラムは自分の進路に確実に影響を与えたと思う。大学在学中にも、また、中国ではない別の国に二週間以上の滞在をしたいと思うようになった。これからも外国語の学習に励みつつ、ゆくゆくは将来も、海外に滞在する仕事、あるいは外国人と関わる仕事を視野に入れて考えていきたい。